

# その自動車保険！安心ですか？


2023/03/6

この仕事をしていて、気にするようになったのが「自動車保険のCM」です。安さだったり、特約内容やサービス内容だったり、いろんな会社がメリットを宣伝していますが、さすがに「あなたの身分を守ります！」っていうのはないようですね。



全教自動車保険の最大のメリットは「教職員の身分を守ること」です。


今回は、自動車保険に関わるあれこれを紹介！




全教共済では13の共済事業を行っていますが、年金共済と自動車保険は外部に委託しています。年金はリスク管理のため。自動車保険は事故対応や相手との交渉など、専門的な知識と経験が必要になるためです。そこで、業界大手である「東京海上日動」と提携して行っています。

## \*東京海上日動の概要


- ・国内最大手の代理店販売型保険会社。会社の安定度・信頼度は業界トップ
- ・保険契約数は業界ダントツ（1000万超えはここだけ）
- ・年間270万件超の事故対応も桁違い（業界2位の損保ジャパンの2.5倍）
- ・ロードサービスは規模も含め業界トップレベル
- ・事故後の交渉力の評価が高い



東京海上日動の宣伝をしているわけではありません。そんな大きな会社と連携できるくらい「全教」という組織が信頼されているということ、そしてその理念に賛同していただいているということをお願いしたいわけです。

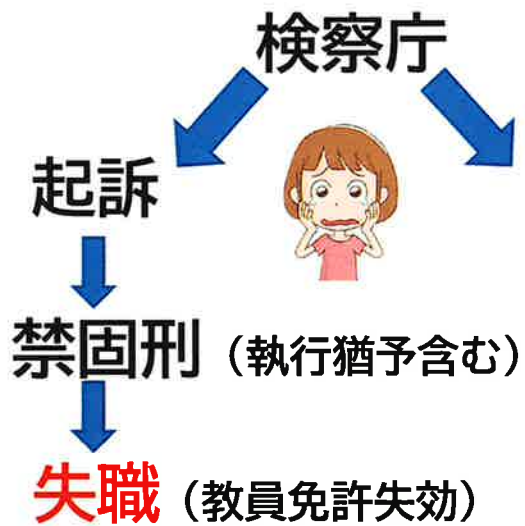


今、東京海上日動の保険に入ってるんだけど、それだったら別に今のままでいいんじゃない？



ところがどっこい！保険にもいろんなオプションがあるんだけど「全教自動車保険」は、全教が東京海上日動に要求して作ってもらった「**教職員に特化した**」保険なんだ。これを「**全教方式**」と呼んでるんだ。そして、最大のポイントが「**教職員の身分を守る**」ということなんだよ。

もし、死亡事故や後遺症が残るような重大事故を起こして「起訴」されると一大事！



\*こちらで済むなら失職にはなりません。

略式起訴/不起訴/起訴猶予

弁護士・全教代理店・保険会社がチームを作り「起訴させない」取り組みを進めるのが全教方式の特徴なんだ。

「身分を守る」ってそういうことだったのね。他の保険会社にはないシステムよね。保険会社にとっては、職業なんて関係ないー加入者に過ぎないわけだし。「教職員限定の保険」をわざわざ作らないだろうし。

\*教職員共済生活協同組合や厚生会の自動車保険でも同様の取り組みが行われています。教職員に関わる団体は、やはり「教職員の身分を守る」ことを第一に考えています。

でも、起訴されたらどうしよう…裁判とかいろいろ大変そうだし…

「弁護士費用特約」の適用範囲に、今年度から「対人事故で起訴された場合等の弁護士費用の補償」が追加されたんだ。これも全教が要求して実現したんだよ。

\*上限 150 万円、裁判員裁判の場合は 300 万円が上限になる場合があります。

でも、その分、保険料が高いですよ…。CMを見ると保険料の安いところがいっぱいあって、何だか心が揺れちゃうんだけど…

でも「身分を守る」取り組みは、他ではやってくれないよ。それに、保険料が安いのは、代理店を置かないのも理由の一つ。全教自動車保険では、この代理店が安心の要、二つ目の「全教方式」になっているんだ。

「全教代理店」とは…次号に続く